

募集

市営住宅入居者募集

募集団地：いいぐら団地（飯倉1365番地/2DK・家賃8、100円）募集戸数：2戸 募集期間：11月1日（9日（土・日祝日を除く））8時30分～17時 応募書類配布場所：都市整備課（市役所3階）野栄総合支所地域整備室 応募書類提出場所：都市整備課 入居資格など、詳しくはお問い合わせください。

問都市整備課管理班
☎73・0091

女性教室参加者募集

ガーデニング教室
テーマは「一足早いクリスマス」。コンテナの寄せ植えを楽しみませんか？
日時：11月25日（日）13時30分～15時30分 場所：公民館談話ロビー 定員：20人 材料代：2、500円 申し込み：11月9日（金）までに公民館☎72・0735へ
絵てがみ教室
キャンセル待ちが出た人気講座。今回は、クリスマスカ

ードを作成します。
日時：12月8日（土）13時30分～15時30分 場所：公民館視聴覚室 定員：20人 材料代：200円 申し込み：11月13日（火）までに公民館☎72・0735へ
両教室共に、申し込み先着順です。なお、現在、同講座を受講されている方の申し込みは、ご遠慮ください。

公民館講座参加者募集

新年のお祝いを手作りで。お正月飾りを作ろう。
しめ縄作り教室
日時：12月15日（土）13時30分～15時30分 場所：公民館大会議室 定員：25人 材料代：500円
門松作り教室
日時：12月16日（日）13時30分～15時30分 場所：公民館大会議室「Aコース」ミニ門松（25cm位）：室内用の簡単な門松、親子向きです。定員：30組 材料代：700円「Bコース」縁起門松（60cm位）：玄関用の本格的な門松 定員：10人 材料代：3千円 申し込み：11月20日（火）までに公民館☎72・0735へ
両教室共に先着順です。

海匠地域
「食育シンポジウム」2007
日時：12月12日（水）13時～16時30分（受け付け開始12時）会場：東総文化会館 内容：講演「食育のすすめー大切なものを失った日本人」講師：服部幸應さん（学）服部学園理事長（＝写真）活動事例発表、タウニングほか
定員：80人（先着順・定員になり次第締め切り）申し込み方法：住所、氏名、電話番号、職業を書いてFAXまたは電話で産業振興課農政班☎73・0089、FAX72・1117へ
参加費：無料
問千葉県海匠農林振興センター企画調整室☎62・0156



ウーミン・テ
イングほか
定員：80

パソコン体験教室

内容：ワード（表・地図の作成、写真・図の取り込み）対象：市内在住・在勤の方 日時：12月4日～18日（火・木のみ）13時30分～15時 会場：野栄農村環境改善センター
申し込み：野栄生涯学習室☎67・1266

世界へ羽ばたく 若人募集

ライオンズクラブのスポンサーによる海外派遣学生を募集します。外国で同世代の青年たちと相互理解を深め、国際感覚を養いませんか。
派遣先国：アメリカ・ヨーロッパ・東南アジアなど 期間：平成20年7月中旬～8月下旬 募集人員：3人 資格：出発時年齢16歳～21歳 詳しくは問い合わせを 申し込み：11月15日（木）までに柏熊タカ子☎67・3126へ

県農業大学校 農業研修生募集

定年退職者、転職者などを対象に、農業を学び体験できる「農業塾（3日間）」の受講生を募集します。
研修期間：【第5回】平成20年1月25日（金）、2月2日（土）3日（日）【第6回】2月1日（金）3日（日）募集期間：12月10日（月）～平成20年1月15日（火）募集人員：各15人 申し込み・問い合わせ：県農業大学校☎0475・52・5122

文芸コーナー

短歌

小林信夫推薦

夏草の茂みに見出し露草の花など数えバスを待ちおり
秋明菊が一輪咲ける庭隅に蝶二羽きたりまつわりあそぶ
佐藤寿美栄
史上最高の厳しき残暑に乾きたる庭に水まきが日課となれり
鈴木 精
部活にて焼けたる肌の女生徒ら白き歯のぞかせ電車に乗り来る
木島 仁美
我が心の終戦の花夾竹桃玉音聴きし庭に赤かりき
加藤 八枝
恙なき高齢の幸い思いつつ今日も事なく地下足袋を脱ぐ
大木よ志子
烏瓜の蔓の太きを手繰り寄せ塊根掘るにさつま芋に似る
青木 秀子
「危ない」と二歳のひ孫に注意され驚きながらも嬉しそうな姑
伊藤 英子

道祖神への願かけ

匠探訪

(21)

六社神社のイボ神様

最近あまり耳にすることがなくなった「イボ」。感染によって皮膚にできる小さな

うそじん」に願かけをしたことを紹介します。

「できもの」をいい、医学が進歩していなかった時代には、カミやホトケに祈って治すことしかありませんでした。その対象となる神仏は、イボ観音やイボ薬師、イボ地藏など多種多様ですが、「道祖神」ど

野手の六社（ろくしゃ）神社の鳥居をくぐり参道を進み、すぐ右側に石の祠（ほこら・石祠・せきし）があります。これをまつたいきさつは、次のようなものでした。

大根畑の与惣左衛門という人が総代となり西国まいりを行った。一行は無事に帰ることができたので、六社神社境内に「道祖神」をまつりたいと願い出、神社側がこの願いを聞き入れ石祠がまつられたという。

1802年（享和2）正月に与惣左衛門が神主に差し出した文書に書かれた内容です。

道祖神は、一般的には集落の境や分かれ道の端などにまつられ、村の守り神、交通安全の神など所願成就（しょうじょうじゆ）の神として信仰されています。道祖神は全国的に分布し男女が並ぶ像が刻まれたものなどが知られています。市域では「道祖神」と文字を刻んだ石祠がほ

とんどです。造立者は個人や村全体で建てることが多く、中には何も刻まれていないものもあります。

六社神社境内の道祖神が「イボ神様」と呼ばれていることに興味がかかります。はじめは、西国まいりが無事だったことに感謝して建てられた道祖神が、あるとき、「イボ」になった人が祈願したら効果があったので「イボ神様」として信仰する人が増えたのでしよう。

現存の道祖神は、1862年（文久2）に建てられました。この年は全国的にコレラ、しかしが流行し多くの死者が出たとされますが、野手村では一人の死者も出なかったといいます。

20年前ごろまでは、道祖神に小石が供えられていたとされ、ここの玉石を持ち帰り患部をこするとイボが治り、お礼に石の数を倍にして返したのだという。しかし、今行ってみると、玉石は見られませんでした。これも時の流れなのでしょう。

1通の記録が残ったことで、1基の道祖神の由来などを知ることができました。

問八日市場図書館 ☎73・3746

力作募集中

あて先...匠瑳市秘書課広報聴班
〒289 - 2198 匠瑳市八日市場八793番地2
☎73 - 0080、FAX 72 - 1114



川口城司推薦
曇天にカナリヤナスの黄の色が畑一枚を際立たせをり
大木 政子

夜の更けを鳴く虫の音もいつとなく静かになりて残月の見ゆ
押本富美子
山深く激つ瀬音を聞きながら湯浴み楽しむ八十路うつそみ
渡辺 重雄

俳句
ふるさとの鳥の近づく秋彼岸
石毛 浩子
島影に秋の来ををり真砂女の碑
高安せい子
牛小屋のがらんどなり虫時雨
中川まさ子
防音の壁に張りつく蔦紅葉
江波戸知巳
古里は仕来り多し菊膳
太田三樹夫
咲き疲れ夜叉の髪なす曼珠沙華
伊藤 友子
穴惑ひ手書経文黙読す
吉野 ヨシ
蛇穴に浮世ばなれの安楽寝
椎名 よね

俳句
西野棠雨推薦

椎の実をたもに入れし頃思ふ
加瀬 潔子
秋の朝看護師の声に元気づく
小川 なか
長雨のハウスで挽ぐや落花生
大木 竹子

川柳
高梨果宝推薦

張り切って登れば楽し老いの坂
鎌形ミツエ
張り切って父母も活躍運動会
林 サダ子
帰省子へママは料理の腕振るい
菱木 静枝
頑張って生きれば齢が付いて来る
森川 もと
雑談で懐具合探られる
常世田やす子
更生へ保護司見守る少女A
宇井トクエ
暖かい心に触れて取れたトゲ
榎本ひかる
少年A父母の涙で立ち直り
伊藤さつき

お彼岸に先祖敬う墓参り
川口城司推薦
口ばかり元気足腰伴わず
及川 利道
嶋田テル子